

資料1

令和6年度第1回 茨木市都市計画審議会

令和6年7月17日

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

府決定案件

府案件第45号 北部大阪都市計画道路の変更

市決定案件

議第143号 北部大阪都市計画用途地域の変更

議第144号 北部大阪都市計画高度地区の変更

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

- 1 都市計画道路茨木寝屋川線の概要
- 2 都市計画道路の主な変更点
- 3 環境影響評価
- 4 用途地域・高度地区の変更点
- 5 今後の都市計画の手続き等

1. 都市計画道路茨木寝屋川線の概要



■ 都市計画道路 茨木寝屋川線 (茨木市域) の概要

(都) 3・4・211-10茨木寝屋川線

【起点】 茨木市耳原二丁目地内

【終点】 茨木市宮島一丁目地内

【延長】 約5,850m

【車線数】

2車線：約4,530m

4車線：約1,320m

【幅員】 20m～44.5m

1. 都市計画道路茨木寝屋川線の概要

■整備効果

① **名神・R171アクセスの向上**
による人流・物流の効率化

② **茨木市街地（JR～阪急）**
における**渋滞緩和**



③ **南北のネットワーク強化**による
大阪中央環状線などの**渋滞緩和**



2. 都市計画道路の主な変更点

2. 都市計画道路の主な変更点



■ 都市計画変更の概要

【区間】茨木市大住町地内
～茨木市寺田町地内

【延長】約1,500m

【変更内容】

- ① 幅員：20～23m
⇒**15.1m～55.0m**
- ② 構造：平面構造
⇒**一部地下構造**(ボックス+掘割)

【凡例】

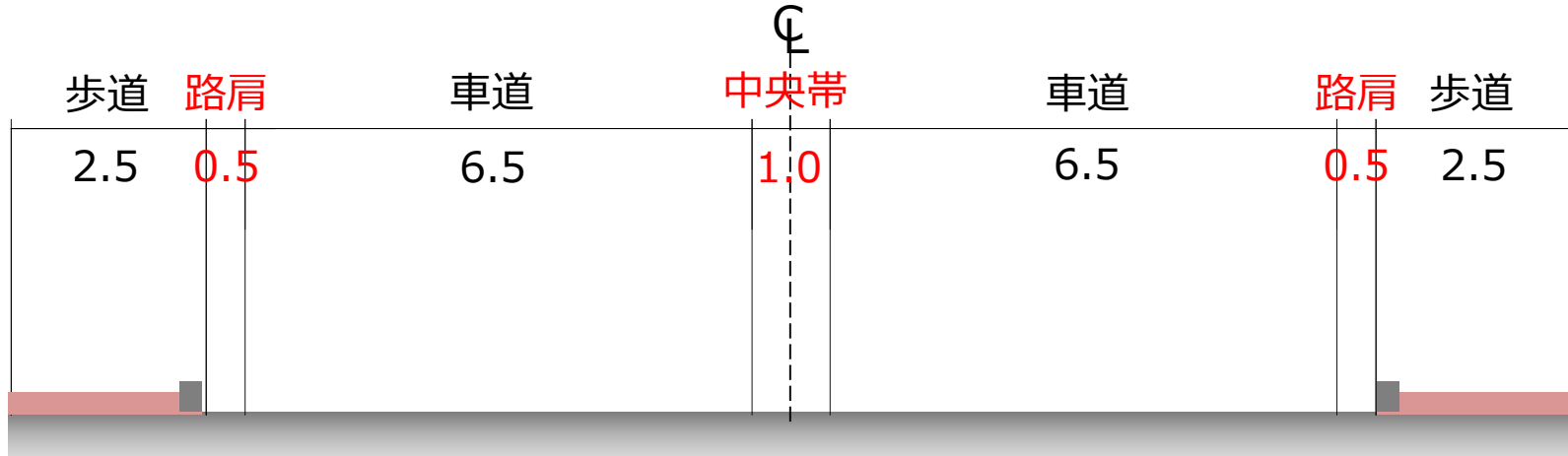
- | | |
|------|------------|
| ---- | 変更前 |
| ■ | 変更後(地下構造部) |
| ■ | 変更後(一般部) |

2. 都市計画道路の主な変更点

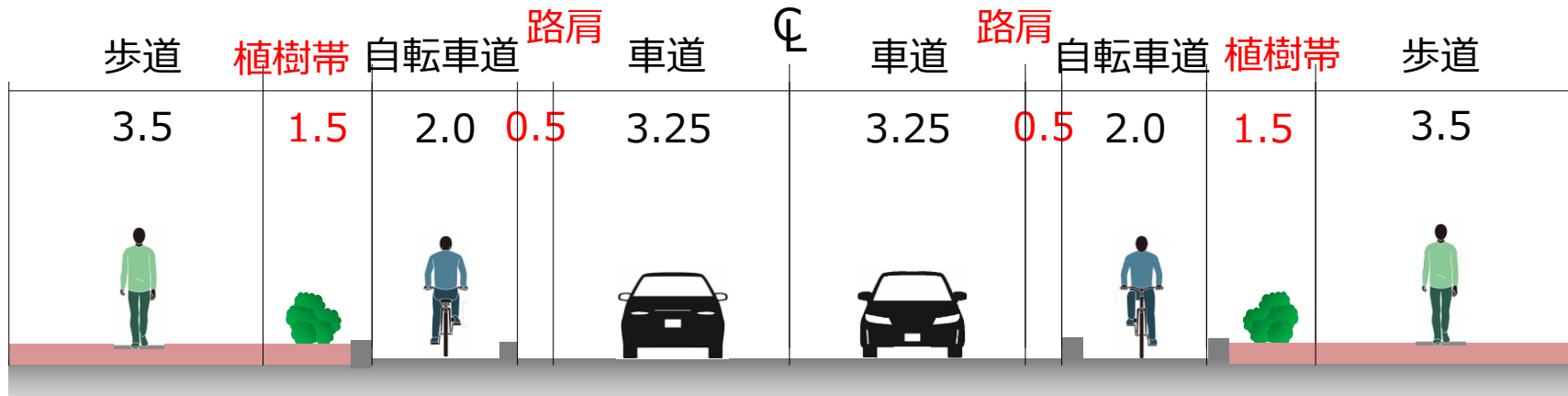
■一般部

標準断面図

変更前（幅員20m）

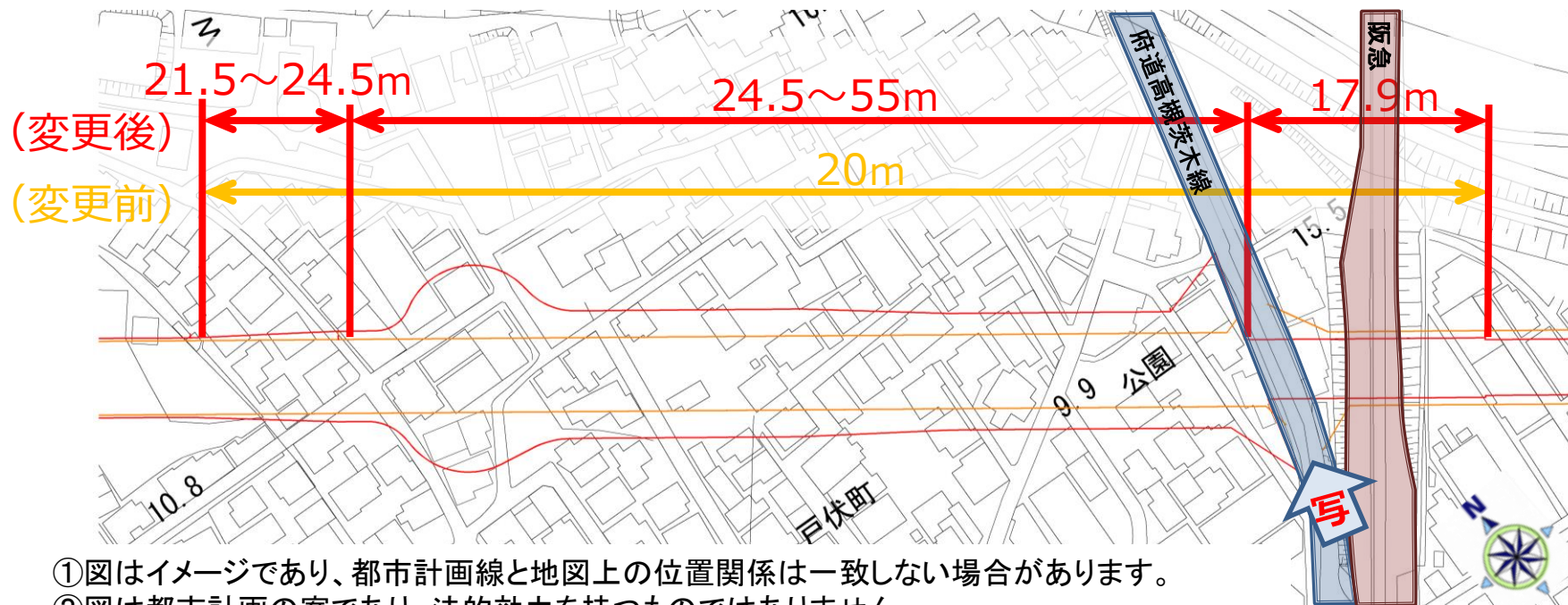


変更後（幅員21.5m～24.5m）



2. 都市計画道路の主な変更点

■地下構造部(阪急西側)



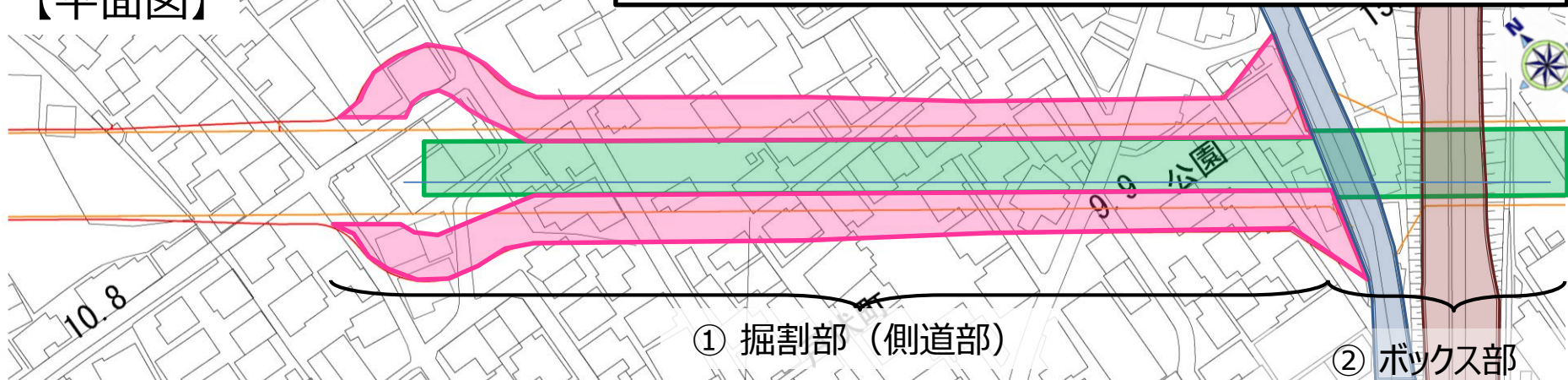
①図はイメージであり、都市計画線と地図上の位置関係は一致しない場合があります。

②図は都市計画の案であり、法的効力を持つものではありません。

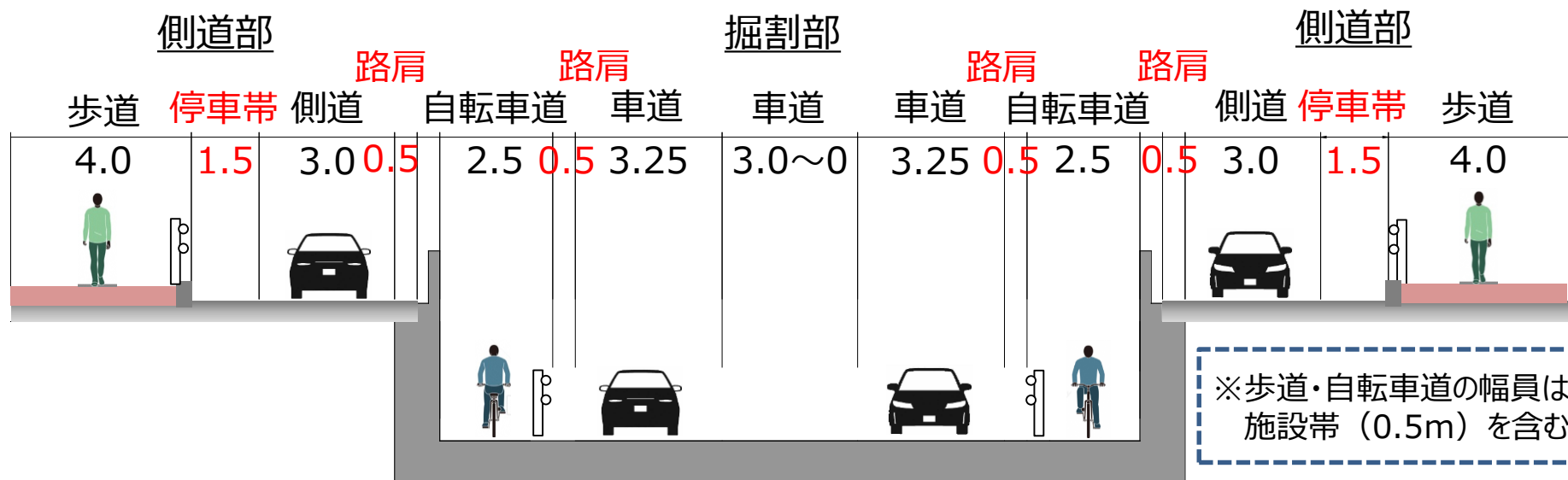
2. 都市計画道路の主な変更点

■地下構造部(阪急西側)

【平面図】



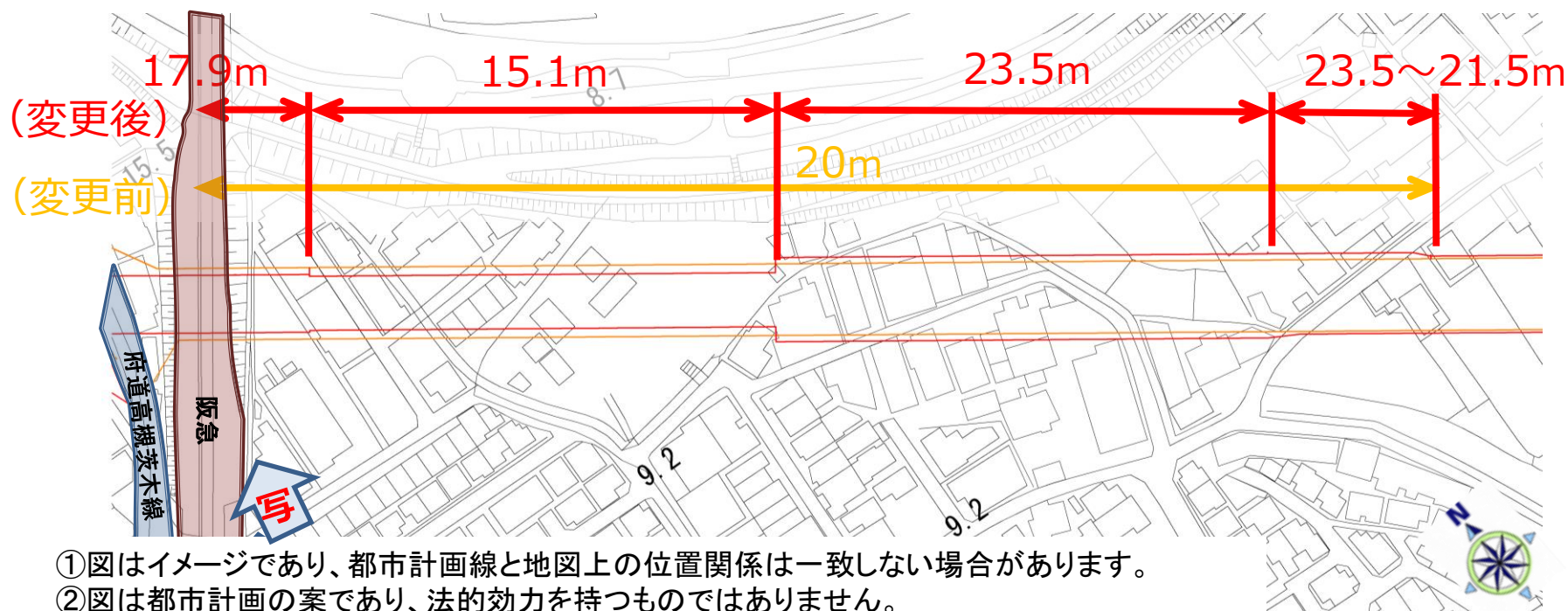
【断面図 (参考) / 幅員 : 31.5m~34.5m】



※地下構造部には歩道を設置しない

2. 都市計画道路の主な変更点

■地下構造部(阪急東側)



①図はイメージであり、都市計画線と地図上の位置関係は一致しない場合があります。

②図は都市計画の案であり、法的効力を持つものではありません。

2. 都市計画道路の主な変更点

■地下構造部(阪急東側)

【平面図】

【凡例】



側道部(一方通行区間)



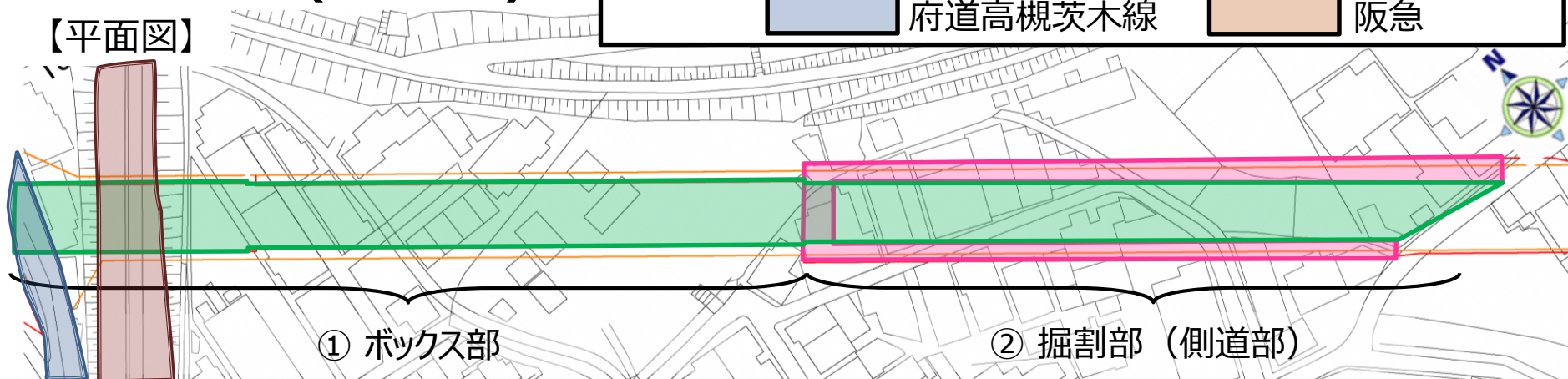
地下構造部



府道高槻茨木線



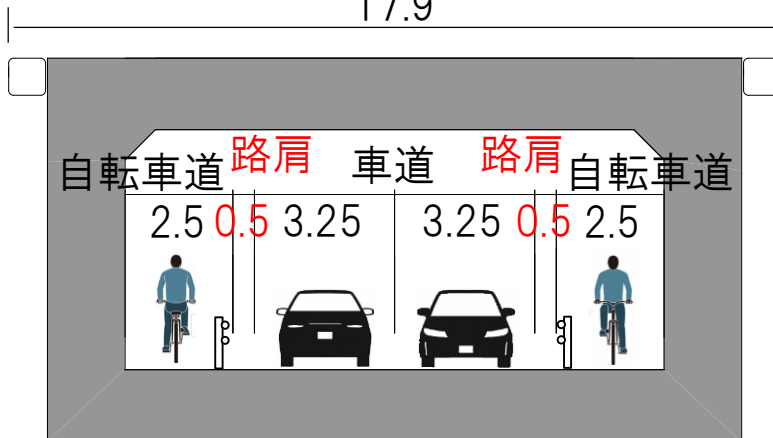
阪急



【断面図 (参考)】

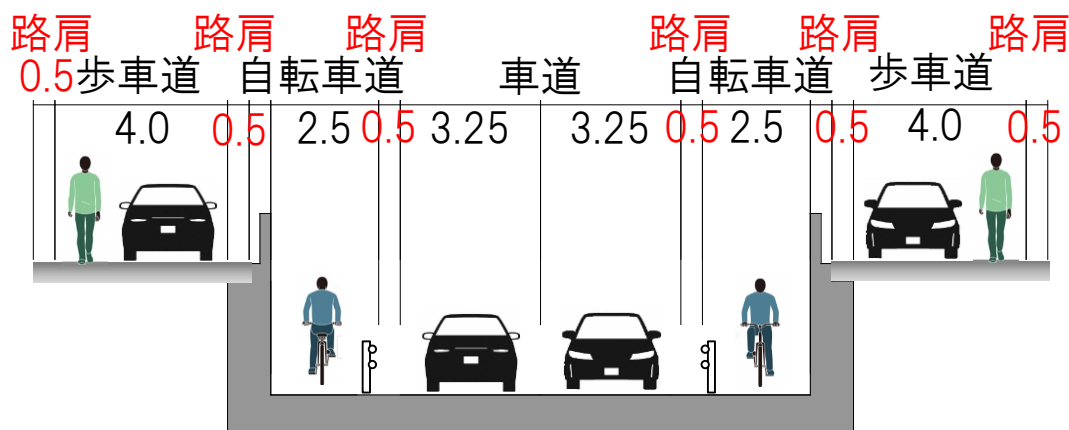
① ボックス部 (幅員 : 15.1m~17.9m) ② 掘割部 (側道部) (幅員 : 23.5m)

17.9



※ 自転車道の幅員は
施設帯 (0.5m) を含む

23.5



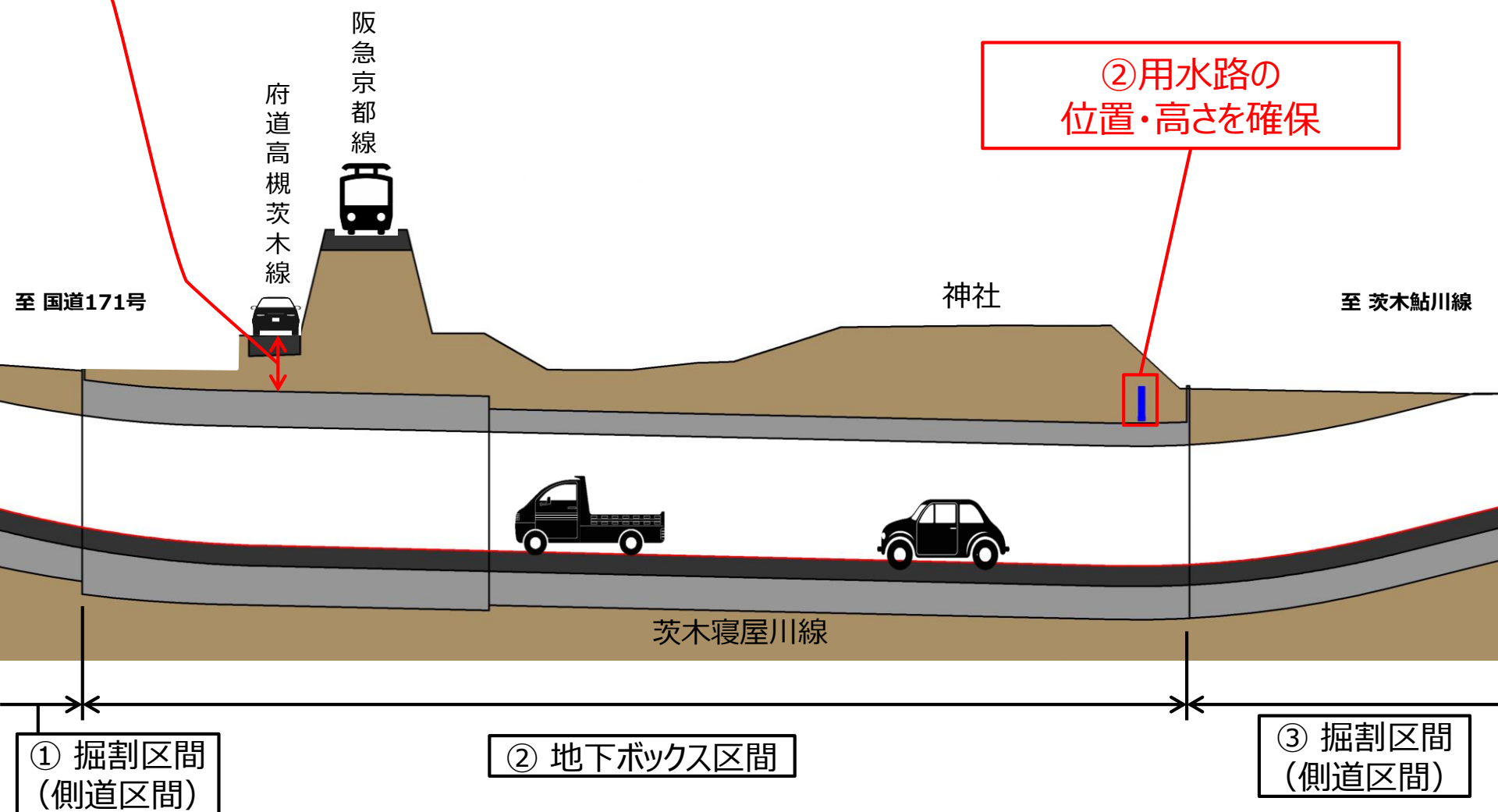
※地下構造部には歩道を設置しない

2. 都市計画道路の主な変更点

■地下構造部

①府道高槻茨木線との離隔を確保

②用水路の
位置・高さを確保



3. 環境影響評価（任意※）

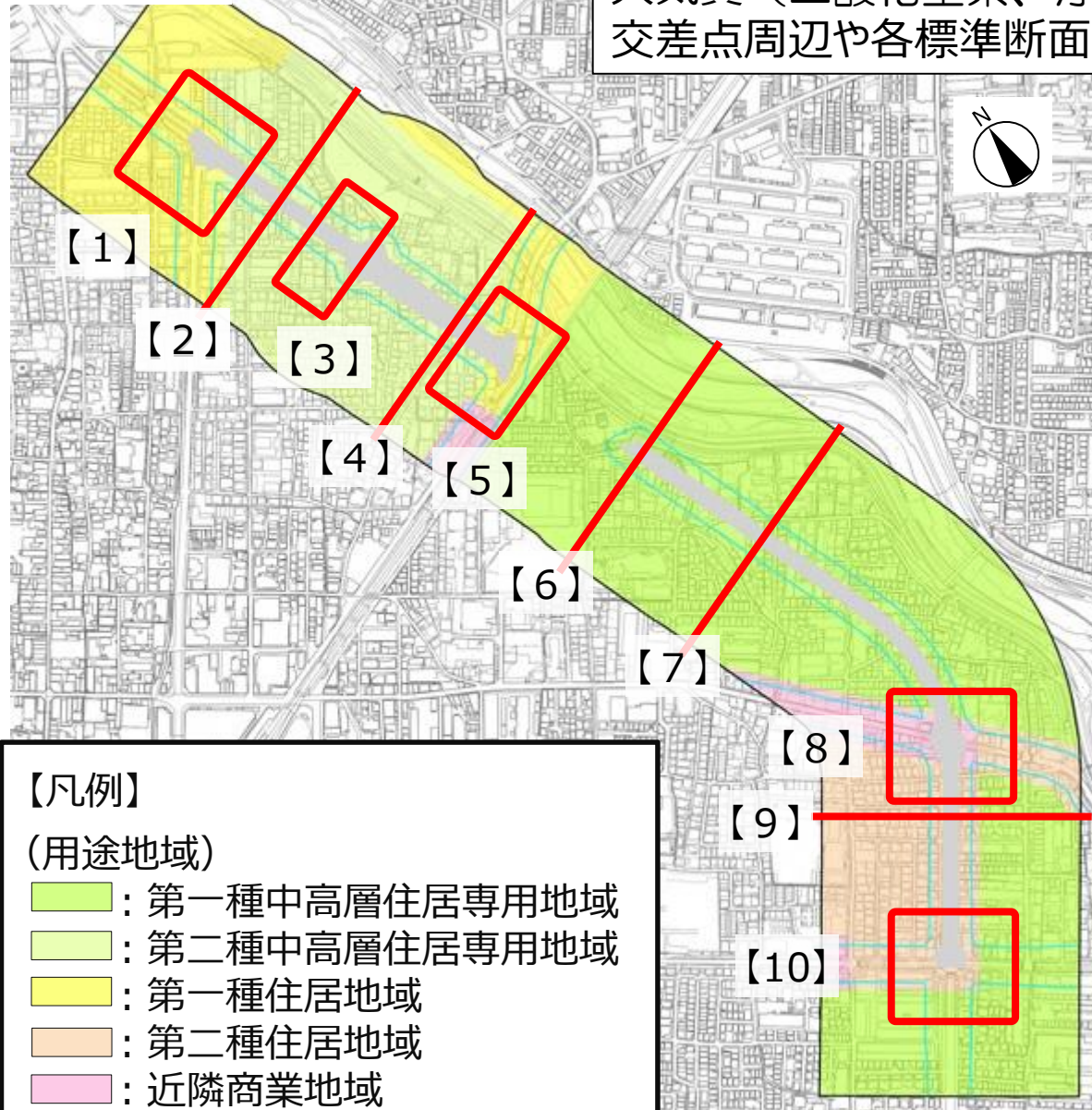
～ 大気質・騒音・振動の予測 ～

※法・条例に基づかない評価

3. 環境影響評価（大気質）

【予測地点】

大気質（二酸化窒素、浮遊粒子状物質）については、
交差点周辺や各標準断面など合計28箇所では予測を実施



予測地点一覧

番 号	地 点	箇所 数
1	八尾茨木線交差点周辺	4
2	平面道路区間①	2
3	側道交差点周辺	2
4	掘割道路・側道区間	2
5	高槻茨木線交差点周辺	4
6	掘割道路区間	2
7	平面道路区間②	2
8	枚方茨木線交差点周辺	4
9	平面道路区間③	2
10	茨木鮎川線交差点周辺	4

3. 環境影響評価（大気質）

【予測結果】

二酸化窒素

■ 環境基準：0.04～0.06ppm以下

番号	地点	予測結果 (ppm)
1	八尾茨木線交差点周辺	0.0233
2	平面道路区間①	0.0230
3	側道交差点周辺	0.0231
4	掘割道路・側道区間	0.0235
5	高槻茨木線交差点周辺	0.0237
6	掘割道路区間	0.0229
7	平面道路区間②	0.0231
8	枚方茨木線交差点周辺	0.0232
9	平面道路区間③	0.0231
10	茨木鮎川線交差点周辺	0.0233

浮遊粒子状物質

■ 環境基準：基準値：0.1mg/m³以下

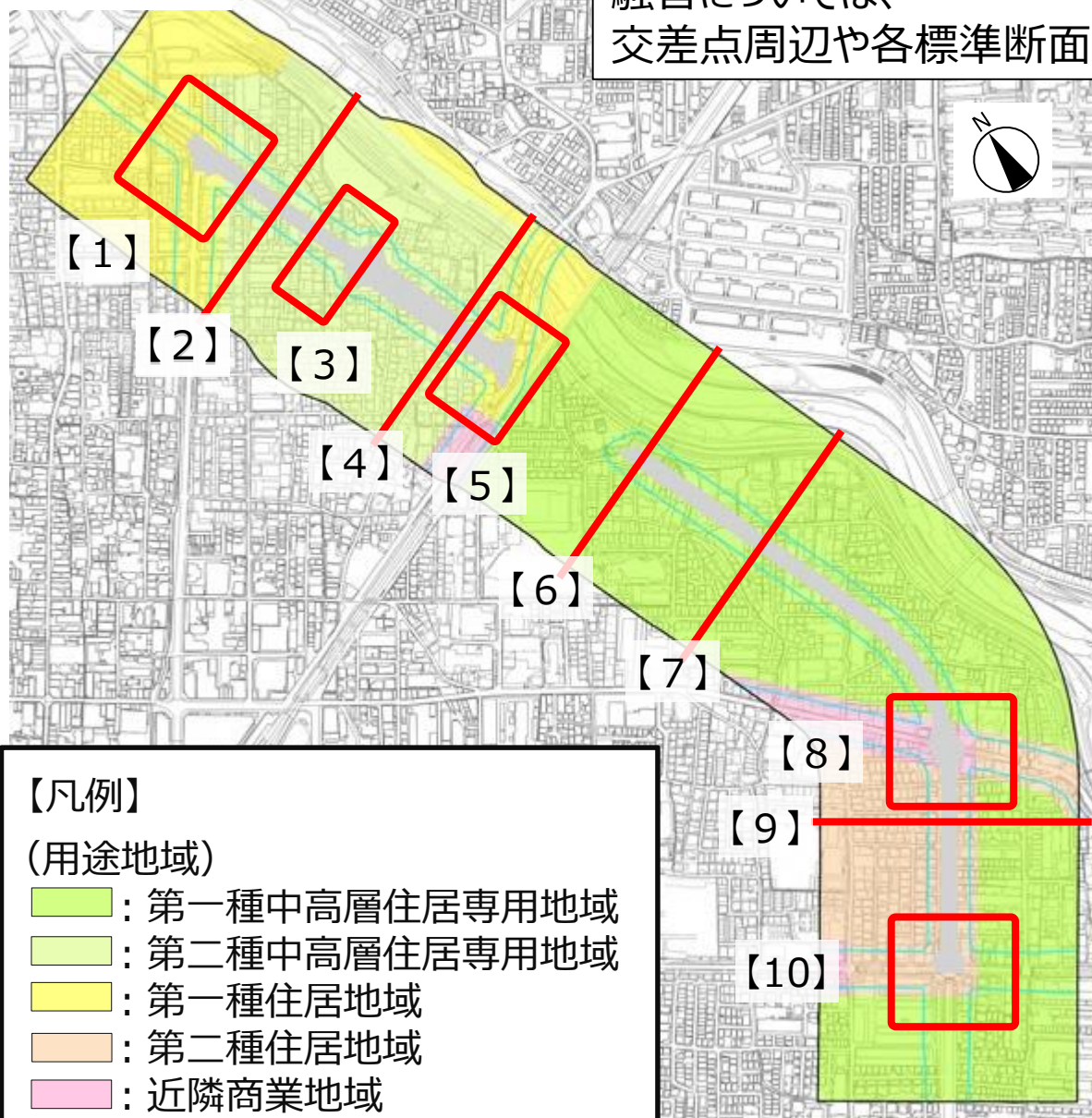
番号	地点	予測結果 (mg/m ³)
1	八尾茨木線交差点周辺	0.0390
2	平面道路区間①	0.0389
3	側道交差点周辺	0.0389
4	掘割道路・側道区間	0.0390
5	高槻茨木線交差点周辺	0.0390
6	掘割道路区間	0.0389
7	平面道路区間②	0.0389
8	枚方茨木線交差点周辺	0.0390
9	平面道路区間③	0.0389
10	茨木鮎川線交差点周辺	0.0390

二酸化窒素、浮遊粒子状物質ともに、すべての地点で環境基準を満足

3. 環境影響評価（騒音）

【予測地点】

騒音については、
交差点周辺や各標準断面など合計85箇所にて予測を実施



予測地点一覧

番号	地 点	箇所数
1	八尾茨木線交差点周辺	13
2	平面道路区間①	4
3	側道交差点周辺	4
4	掘割道路・側道区間	4
5	高槻茨木線交差点周辺	13
6	掘割道路区間	4
7	平面道路区間②	4
8	枚方茨木線交差点周辺	17
9	平面道路区間③	5
10	茨木鮎川線交差点周辺	17

3. 環境影響評価（騒音）

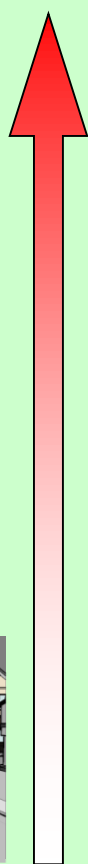
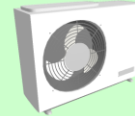
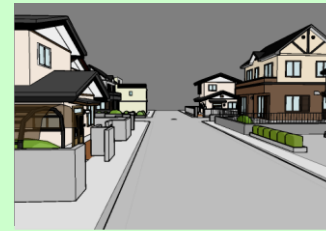
【騒音の環境基準】

地域の区分等		基準値	
		昼間(※1)	夜間(※1)
近接空間	道路端から15m	70dB以下	65dB以下
A地域	第1種・第2種低層住居専用地域 第1種・第2種中高層住居専用地域 田園住居地域	60dB以下	55dB以下
B地域	第1種・第2種住居地域、準住居地域 用途地域の指定のない地域	65dB以下	60dB以下
C地域	近隣商業・商業地域、準工業・工業地域		

※1：昼間は6～22時、夜間は22～6時

3. 環境影響評価（騒音）

【等価騒音レベルの目安】

騒音レベル	屋内の例	屋外の例	うるさいと感じる
100dB		電車が通るときのガードの下	
90dB	カラオケ（室内客席中央）	騒々しい工場の中、犬の鳴き声（正面5m）	
80dB	ピアノ（正面1m）	地下鉄の車内	
70dB	騒々しい事務所の中	騒々しい街頭	
60dB	普通の会話 	静かな乗用車	
50dB	静かな事務所	クーラー（室外、始動時） 	
40dB	図書館 	市内の深夜	
30dB	ささやき声 	郊外の深夜	

出典：「環境シリーズNo.25 近隣騒音を考える」（（財）日本環境協会）

3. 環境影響評価（騒音）

【予測結果】 ※騒音対策として、排水性舗装を施工した前提

昼間

- 環境基準：近接空間 70dB以下
A地域 60dB以下
B・C地域 65dB以下

番号	予測結果(dB)				現地調査結果 (dB)
	近接空間	A地域	B地域	C地域	
1	66	60	62	—	—
2	60	57	—	—	54
3	61	58	—	—	—
4	62	59	—	—	54
5	67	60	61	—	—
6	61	58	—	—	—
7	63	60	—	—	55
8	64	60	61	61	—
9	64	59	60	—	50
10	63	59	60	—	—

夜間

- 環境基準：近接空間 65dB以下
A地域 55dB以下
B・C地域 60dB以下

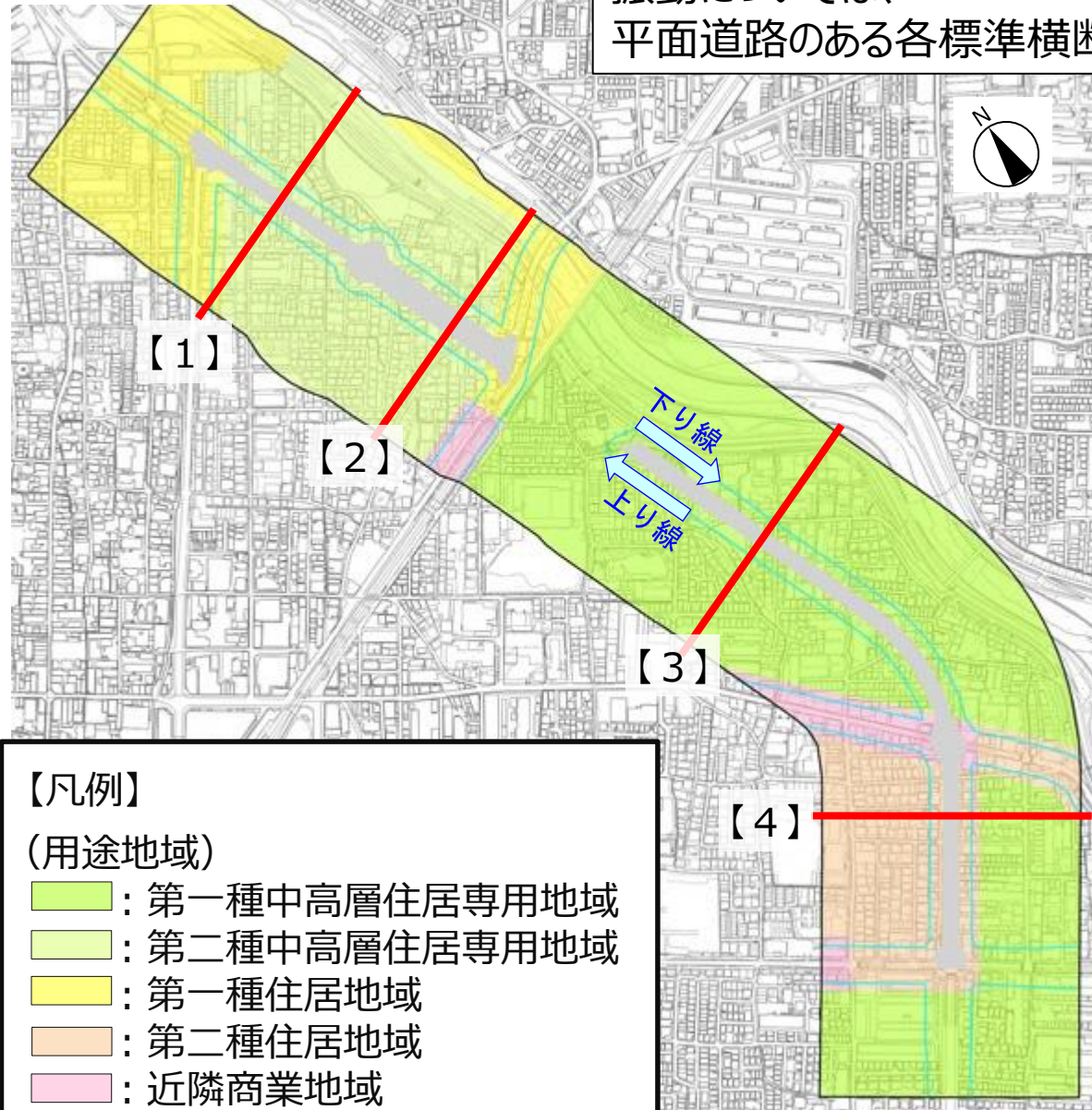
番号	予測結果(dB)				現地調査結果 (dB)
	近接空間	A地域	B地域	C地域	
1	61	54	56	—	—
2	54	51	—	—	45
3	55	52	—	—	—
4	56	53	—	—	48
5	61	54	55	—	—
6	54	52	—	—	—
7	57	53	—	—	45
8	58	53	54	55	—
9	57	53	54	—	46
10	56	52	53	—	—

昼間・夜間ともに、すべての地点で環境基準を満足

3. 環境影響評価（振動）

【予測地点】

振動については、
平面道路のある各標準横断の合計8箇所で行測を実施



予測地点一覧

番号	地点	箇所数
1	平面道路区間①	2
2	掘割道路区間	2
3	平面道路区間②	2
4	平面道路区間③	2

【凡例】

（用途地域）

- ：第一種中高層住居専用地域
- ：第二種中高層住居専用地域
- ：第一種住居地域
- ：第二種住居地域
- ：近隣商業地域

3. 環境影響評価（振動）

【振動の要請限度】

■ 昼間：65dB以下、夜間：60dB以下

※昼間は6～21時、夜間は21～6時

【振動レベルのイメージ】



出典：

「生活環境における騒音・振動を考える」
（(財)日本環境協会、平成2年）

3. 環境影響評価（振動）

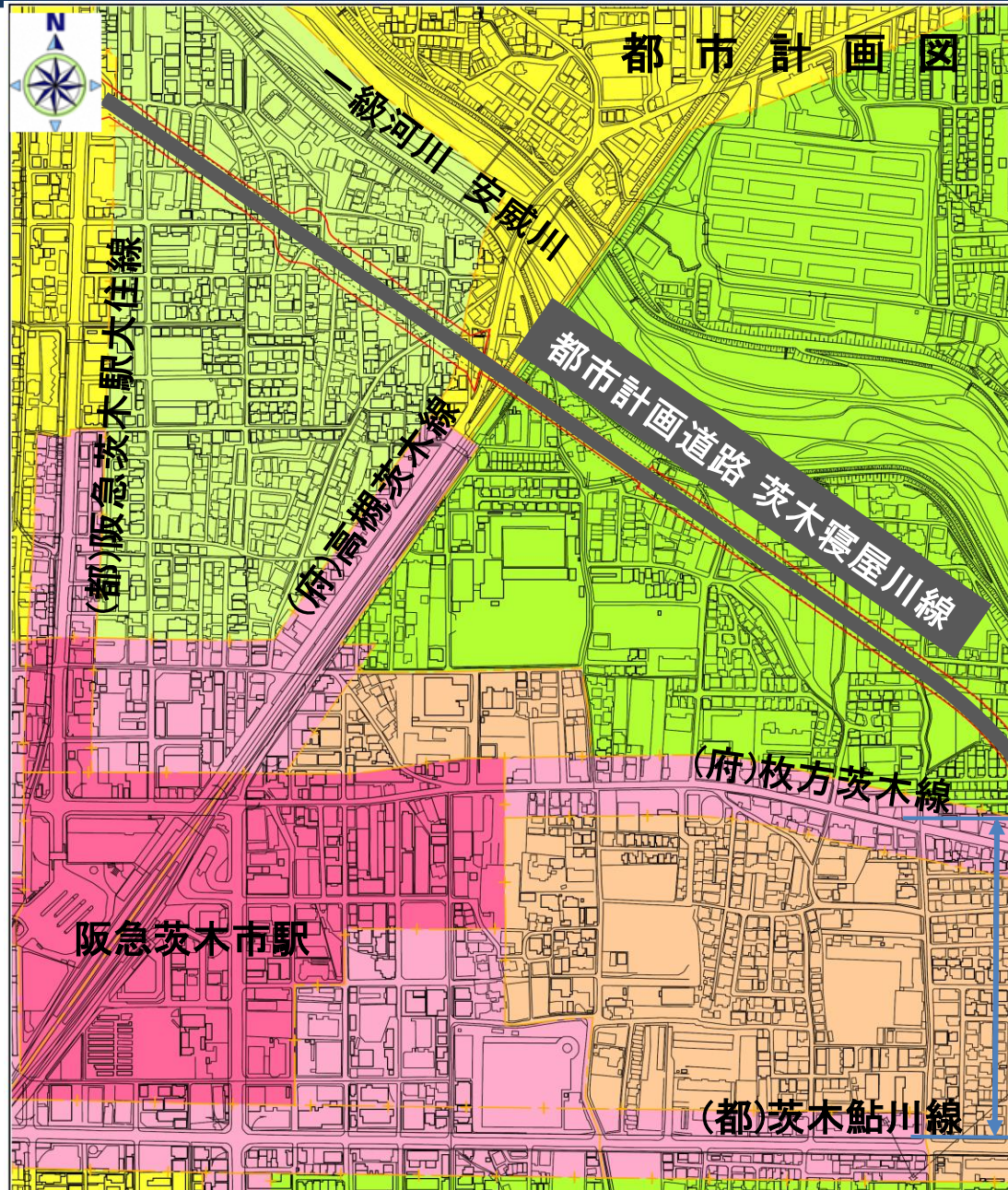
【予測結果】 ■ 要請限度：昼間：65dB以下、夜間：60dB以下

予測位置		時間区分	予測結果(dB)	現地調査結果 (dB)	道路交通 振動の限度(dB)
			官民境界		
【1】 平面道路区間①	上り線側	昼間	47	28	65
		夜間	42	22	60
	下り線側	昼間	47	—	65
		夜間	42	—	60
【2】 掘割道路区間	上り線側	昼間	43	—	65
		夜間	38	—	60
	下り線側	昼間	43	32	65
		夜間	38	26	60
【3】 平面道路区間②	上り線側	昼間	50	—	65
		夜間	45	—	60
	下り線側	昼間	50	30	65
		夜間	45	19	60
【4】 平面道路区間③	上り線側	昼間	49	29	65
		夜間	45	23	60
	下り線側	昼間	49	—	65
		夜間	45	—	60

昼間・夜間ともに、すべての地点で要請限度を満足

4. 用途地域・高度地区の変更点

4. 用途地域・高度地区の変更点



■ 用途地域と高度地区の 変更箇所について

茨木寝屋川線の計画線から
25mで定めている用途地域等
の境界線について、

**茨木寝屋川線の幅員の
見直しに合わせて変更**

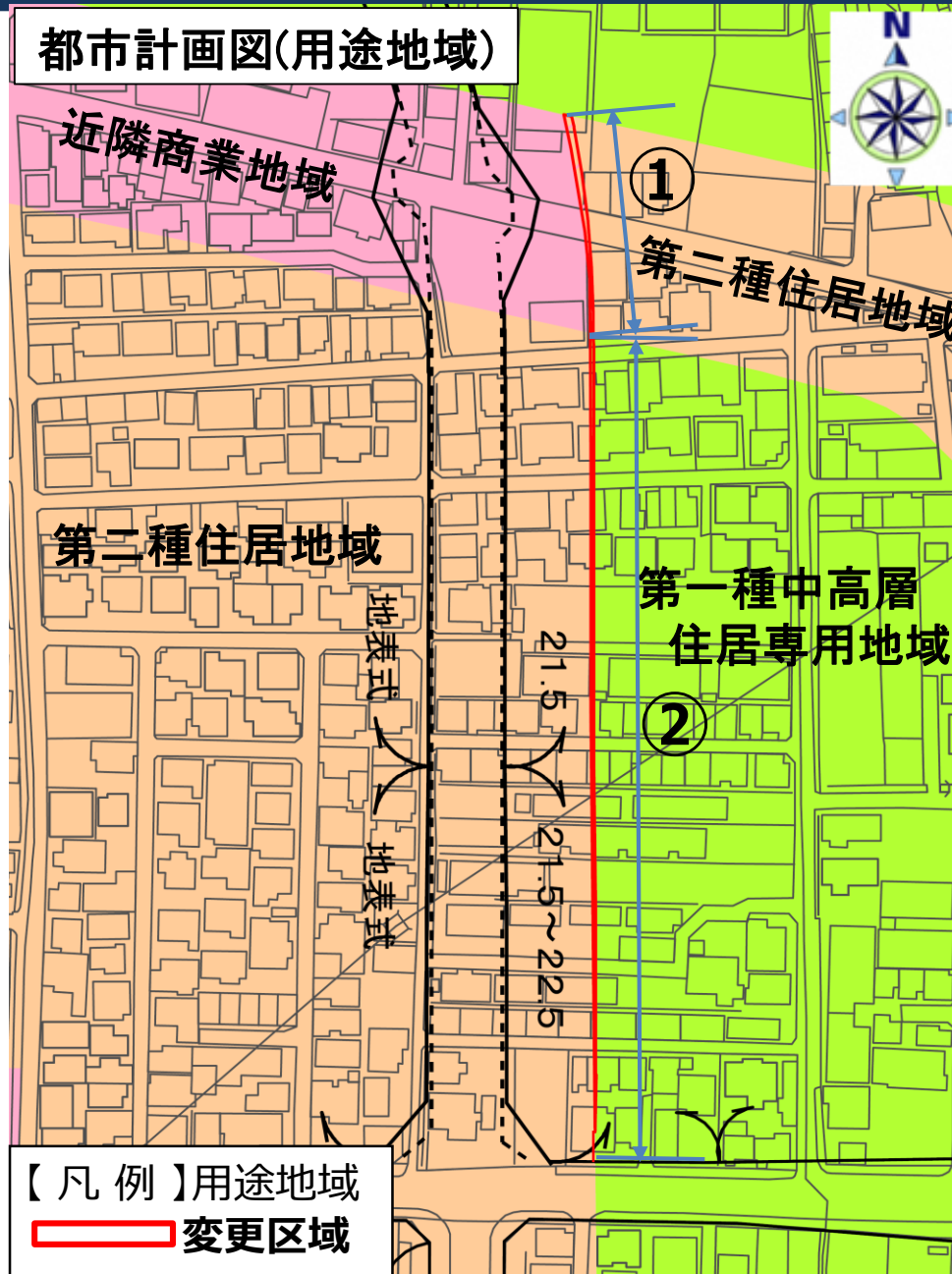
【凡 例】

--- 用途地域等の変更箇所

 茨木寝屋川線の変更箇所

凡 例	
 	第一種低層住居専用地域
 	第二種低層住居専用地域
 	第一種中高層住居専用地域
 	第二種中高層住居専用地域
 	第一種住居地域
 	第二種住居地域
 	準住居地域
 	近隣商業地域
 	商業地域
 	準工業地域
 	工業地域

4. 用途地域・高度地区の変更点



■ 都市計画変更の概要

【幅員(標準部)の変更】

都市計画道路の幅員20.0m

⇒**21.5m~22.5mに変更**

※拡幅に合わせて沿道の用途地域の区域を変更する(:変更区域)

【用途地域の変更】(容積率/建ぺい率)

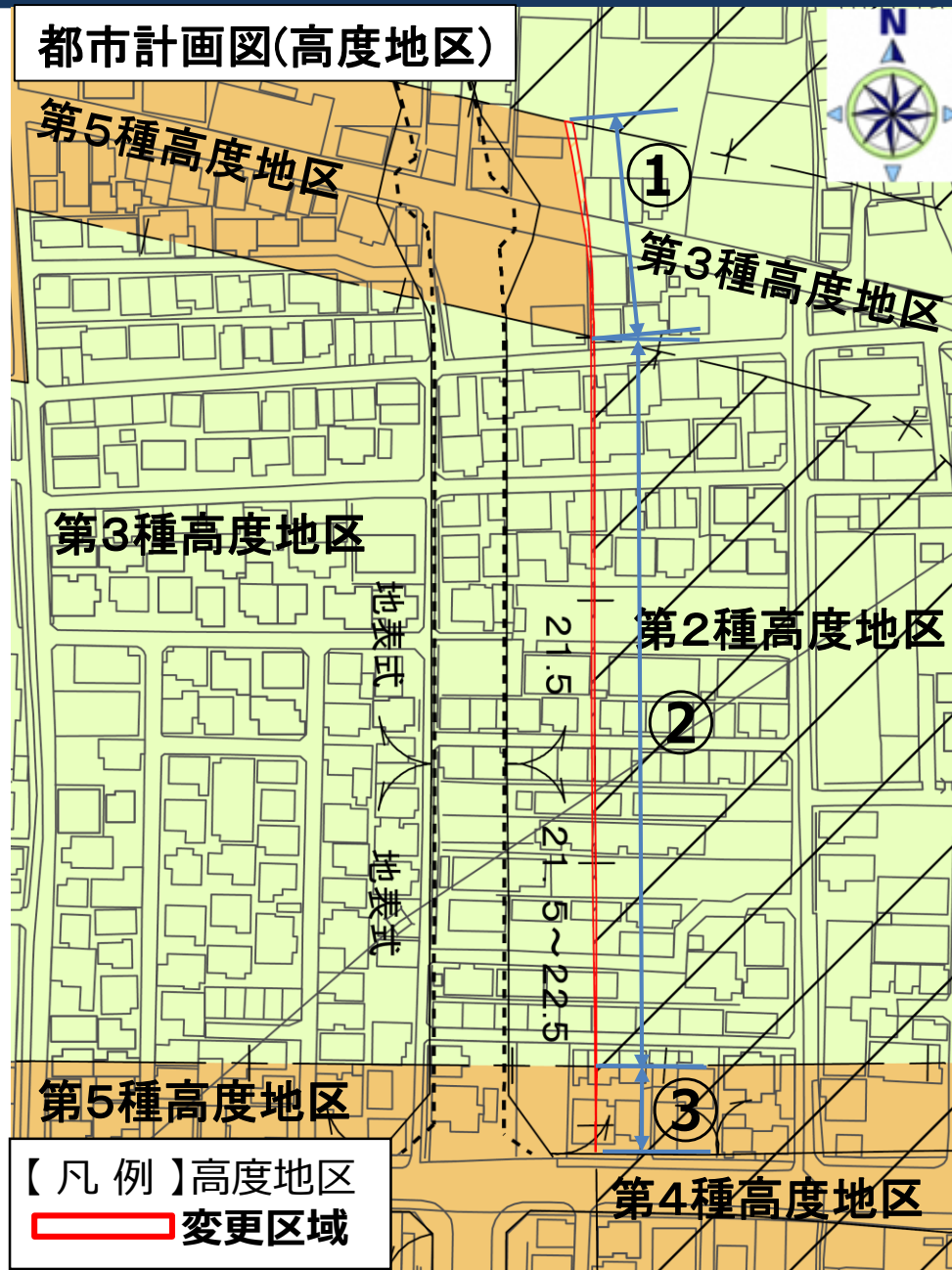
①第二種住居地域(200/60)

⇒**近隣商業地域(300/80)**

②第一種中高層住居専用地域
(200/60)

⇒**第二種住居地域(200/60)**

4. 用途地域・高度地区の変更点



■ 都市計画変更の概要

【幅員(標準部)の変更】

都市計画道路の幅員20.0m

⇒ **21.5m~22.5mに変更**

※ 拡幅に合わせて沿道の高度地区の区域を変更する(: 変更区域)

【高度地区の変更】(建物高さの最高限度)

① 第3種高度地区(16m)

⇒ **第5種高度地区(22m)**

② 第2種高度地区(16m)

⇒ **第3種高度地区(16m)**

③ 第4種高度地区(22m)

⇒ **第5種高度地区(22m)**

5. 今後の都市計画の手続き等

5. 今後の都市計画の手続き等について

■スケジュール [(府決定) 都市計画道路] [(市決定) 用途地域、高度地区]

地元説明会

①令和5年12月16日(土)	10時から	中津小学校	参加人数: 210人
②令和5年12月18日(月)	19時から	中津小学校	参加人数: 73人
③令和5年12月21日(木)	19時から	青少年センター	参加人数: 38人
④令和5年12月23日(土)	10時から	青少年センター	参加人数: 45人
			合計: 366人

大阪府都市計画公聴会

令和6年2月20日(火) 14時から 大阪府庁別館8階
公述申出: 1件

都市計画案の縦覧・意見書の提出 (都市計画道路の変更、用途地域・高度地区の変更)

令和6年5月10日(金) から24日(金) まで
縦覧: 0人 意見書: 1件(都市計画道路の変更)

茨木市都市計画審議会 令和6年7月17日

大阪府都市計画審議会 令和6年8月2日

都市計画変更告示 令和6年9月頃予定

5. 今後の都市計画の手続き等について

■ 段階整備

整備手順や事業区間を検討中

■ 基本的な流れ

